

令和元年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日:10月11日(金)

会場:三良坂コミュニティセンター

参加者数:54人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>旧仁賀小学校校舎には、現在、寺町廃寺跡の出土品が持ち込まれているが、展示場にしてはどうか。興味を持っている方も多い。パネルや模型、出土品の展示などをすれば、全国から興味のある人が来るのではないかと検討していただきたい。また、袋の中に入土品を入れてあるが、どういう状況なのか、2ヵ月に1回程度でよいので、情報を仁賀振興会に提供していただきたい。</p>	<p>寺町廃寺跡は、日本最古の仏教物語である「日本霊異記」に記載されている備後三谷寺と考えられている。寺の名前と創建者がわかっている寺はほとんどなく、非常にまれである。昔から全国から注目を集めている。塔跡や金堂跡、講堂跡等が良好な状態で発見されており、考古学ファンが多い寺院跡である。改めて発掘作業を行い、寺院跡の価値を確認した上で、これからの保存と活用の計画を立てるように文化庁から指導を受けている。総括報告書、保存活用計画、整備基本計画、基本設計の作成後に、実施設計、整備工事ということになるので、順調に進んでも8年程度はかかる見込みである。</p> <p>旧仁賀小学校には三次町の旭提の遺跡や灰塚の水埋地区から出た遺跡など埋蔵文化財を集めているところであり、埋蔵文化財調査の基地としても活用している。集めた遺物を皆さんにどのように見ていただくかなど、今後については、時間をかけて検討していきたい。</p> <p>袋の中には瓦など発掘調査で出た遺物を入れており、調査が終われば袋から出し、洗いや仕分けを行う。調査が終わったものについては、定期的にお伝えしたい。</p>	
<p>小学校が統合し、遊休地になっている。田利地域には使われていない広い土地が空いている。リョービの工場に立派なグラウンドがあるが、年間、何回使われているのか。無駄な遊休地ではないか。仁賀小学校の下には、漬物工場跡があるがゴースタウンのようになっている。重機が入って土が盛られているが、何かできるのか。</p>	<p>・財務部で市の公共施設の総合管理計画を作って、使わない施設を解体したり、土地にして売れるものは売るなど、市全体で施設は783あり、棟数では1,500以上ある。田利の土地は、現在、新たな工業団地として売っていかうという手立てをしている。現在、一つひとつの施設をどうしていくかという個票を作成している。譲渡、売却、資源として活用できるものは活用するなど、市民の方と協議しながら、経費を節減して新たな事業の経費を捻出していかなければならない。ご協力をお願いしたい。</p> <p>・リョービの工場のグラウンドの前の陸上競技場については、陸上競技での利用は少ないが、グラウンドゴルフやサッカーの大会など色々な形で活用されている。お子さんを中心に年間1万人を超える利用をいただいている。施設は古いが、直しながら利用している。</p>	
<p>かずらの根を漢方薬剤の原料として使えないか。漢方薬材の調査研究がどのくらい進んでいるか。三良坂に原料となる植物があるのか教えてほしい。</p>	<p>漢方薬剤の原料になる薬用作物について、現在、調査研究を行っている。品種等の候補の選定はこれからになる。品種等の候補が出れば、次のステップを検討する。まずは試験栽培など段階を経て取組を進めていきたい。かずらの根はおそらく漢方薬剤の原料にはなっていないと思われるが、まだまだ調査研究の段階である。</p>	

令和元年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日:10月11日(金)

会 場:三良坂コミュニティセンター

参加者数:54人

参加者の発言	市の発言	備考
65歳以上の高齢者がグラウンドゴルフやカラオケや将棋, お茶を飲みながら話ができ, 自由に使える高齢者の学園のような施設を作ってほしい。旧安田小学校が良いのではないかと思う。	三次市民の健康寿命をいかに延伸するかが大きな課題であると認識している。これからは人生百年時代を迎えつつある。今年, 三次市で100歳を迎えた方が38名, 100歳以上の方が114名いらっしゃる。100歳を迎えても元気な方に共通するのは, 声を出して歌うなど, よく話をされる方が多いという印象を受けている。高齢者の皆さんが元気で暮らして健康寿命を延伸する取組をこれからも行っていきたい。提案いただいたことは参考にさせていただきたい。	
三良坂学園のプールについて, 45分の授業の内, 送り迎えで20分使うため, プールの時間が20分しかとれない。学校の近くにプールを移設してほしい。	市内には, 他にも学校施設から離れたところにプールがあるところがある。他の学校と同様に課題であると認識している。	
体育館が, 今年の夏は異常な温度で授業にならなかった。仮設の冷暖房を取り寄せてもらえないか。	市内の小中学校の普通教室へは, 他の市町に先駆けて設置してきたが, 体育館へのエアコンの設置は十分にできていない。予算が伴うことなので, 今後, しっかり計画をたてて進めていきたい。現在, 一番に図書館のリニューアルを考えている。子どもたちが図書館にいて, 本を手にとって読んでみたいと思えるような各学校の図書館づくりを考えている。タブレットの導入も計画的に進めていきたいと考えている。	
県立中高一貫校ができたが, 各学校区から生徒を引き抜かれると地元の学校は寂しさを感じる。	自宅から通えるなら行ってみたいという声も考慮されたうえで, 県立三次中学校ができた。自宅から通えるところに行ってみようという学校がある, 選択肢が増えたということは三次市にとってメリットだと捉えている。県立中学校と市内の公立中学校が連携して, 県立中学校で行っている授業の方法などを市立の学校でも取り入れて, 同じような形での授業展開ができるよう考えながら行っている。学区の自由化や県立三次中学校ができたことで, 地元にも子どもが少なくなるという意見はこれまでもいただいていたが, それぞれの学校が特色をもって子どもたちの教育を行っているので, これからも力添えを頂きたい。みらさか学園では, 昨年度, 道徳の教育を中心に行ってきたが, 今年度はそれをさらに展開し, 道徳, 生徒指導, さらに学力向上につなげていこうとしている。	
IT事業を進めるにあたり, 高齢者を対象にした講習会は行っていただけなのか。	高齢者の皆さんがスマートフォンやタブレットを活用することで, 様々な課題を克服できると思っている。高齢者や体にハンディキャップを持つ人が, ICTを活用して, 今までできなかったことができるようになる可能性がある。そのためには, 講習会は大切なものだと認識している。	

令和元年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日:10月11日(金)

会 場:三良坂コミュニティセンター

参加者数:54人

参加者の発言	市の発言	備考
工業団地に漢方薬で有名な会社があるが、企業、地域と連携して、各地域で地域資源の開発を進めてはどうか。中国から薬草を仕入れているが、気候風土が違うため、漢方薬に使えるものも結構あるのではないか。企業のPRにもなると思うので、地域と連携して話をすれば、三次の新たな資源を発見できるのではないか。	地元の製薬会社や大学、専門分野の方や有識者から専門的な知識をいただくことが大切だと思っている。それらを積極的に活用する中で、漢方薬材の産地化へ向けた調査研究をしていきたい。漢方薬材は年々需要が伸びている。中国でも需要が伸びているため、価格が高騰して、輸入しづらくなっている。日本国内で安心安全な漢方薬材を生産しようということが農林水産省を中心に広がりつつある。色々な情報を得る中で、新たなチャレンジをしていきたい。	
5年前に小中一貫校であるみらさか学園が創られた。今年、中高一貫校ができ、三良坂からも多数の生徒が入学することとなり、三良坂中学校への進学率が56%と寂しい状況になった。三良坂小学校の学力が高くなっているということを示しており、喜ばしいと思う反面、他の中学校へ行ってみたいと思う小学生が多かったということを示している。PTAとして危機感を感じている。みらさか学園の魅力を高めていく必要性を感じている。魅力を高めるために有効な事案として、裏庭を活用してはどうか。現在、更地となっているが、小学生と中学生の新たな交流の場として期待ができる。サブグラウンドとして利用できるよう、今年度の補正予算に組み込んでいただきたい。	<p>・平成27年に開校したみらさか学園の整備に関して、かねてから地域から景観と安全面を配慮した廃屋の撤去等 整備の要望があった。平成31年に事業を行ってきた。現在、整備の途中で止まっているが、このままでよいとは思っていない。野菜作りが可能な体験広場ということも伺っている。できるだけ早く進めていくよう調整中である。</p> <p>・みらさか学園の裏の土地については、地元の議員や三良坂の地域の皆さんからも多数の要望をいただいている。学校環境を少しでも良くするために、前向きに検討していきたい。教育委員会としっかり協議しながら進めていきたい。</p>	
特別教室にもエアコンを整備していただきたい。	特別教室のエアコンについて、今年度、三次市PTA連合会からも要望をいただいている。どのような方法がとれるかこれから考えていきたい。	
通学路に危険な箇所がある。毎日、子どもが通るところなので早めに改修していただきたい。	通学路の安全プログラムを行っており、県道、市道、国道の管理者、警察と連携を取りながら対応している。現場を見せていただいて、どのような方法がとれるかを検討したい。	
駅前の空いている市の保留地をどのように活用するのか伺いたい。	駅前の市の土地の利活用については、はっきり決まったものはない。	
途中で変更されて区画整理の地区外になっている空き地について、備蓄倉庫にしてほしいという要望を出したが、どうなっているか。	地区外になった所の空き地部分については、いろいろとご要望をいただいているが、現地を見させていただき、どのような使い方が良いか相談させていただきたい。	

令和元年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日:10月11日(金)

会 場:三良坂コミュニティセンター

参加者数:54人

参加者の発言	市の発言	備考
<p>沖江川について、交番から馬洗川の間、去年の豪雨の際、あふれるくらいの水量になった。交番のほろがあふれると、町中に水が流れていく。馬洗川から30m手前の川の中に大きな木が生えており、そのままになっている。伐採をお願いしたい。</p>	<p>沖江川については県の所管する河川のため、場所を見させていただき、広島県と協議しながら、どう方法をとるか検討したい。</p>	
<p>商店街の中の公衆トイレの整備が始まった。大変ありがたいと思っている。商店街への出店を考えている方が3名いらっしゃる。集落支援員や地域の方と情報共有しながら協議している。出店ができるだけ安くできるよう、空き店舗対策も含め、長いスパンでしっかりとした補助をお願いしたい。</p>	<p>現在、空き店舗への出店、若者、高齢者の方が新たに起業する場合、市でも支援を実施している。昨年度、補助事業を活用され、三良坂の商店街へ出店された店舗もある。出店にあたっての計画作り、経営のアドバイスを広域商工会にも担っていただいている。今後も広域商工会や関係者の皆さんと連携して、補助事業を活用していただきながら、商店街の活性化に取り組んでいきたい。</p>	